

報道関係者 各位

2014年10月8日

東日本大震災復興支援企画 2014年度はいわき市

**研究公演「じゃんがら念仏踊りみんぱく公演」****2015年1月24日（土）開催！ 国立民族学博物館**

国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）では、研究公演「じゃんがら念仏踊りみんぱく公演」を2015年1月24日（土）に開催する運びとなりました。

本公演は、じゃんがら（福島県に伝わる独特の念仏踊り）の披露のほか座談会も行うもので、2014年度の東日本大震災復興支援企画です。復興に向けた人びとの思いについて考える機会になれば幸いです。

**【公演概要】**

○本公演の見どころ！！

**■いわき市「<sup>じゃんがら</sup>久之浜大久自安我楽念仏踊継承会」出演！**

いわき市でも被害が大きかった久之浜町を中心とする地元の継承会です。東日本大震災による津波で、かねや太鼓、浴衣などの備品が流出しましたが、多くの人々の手によってこれらの道具が拾い集められ、活動を再開しました。

**■出演者と研究者による座談会も開催！**

じゃんがら公演のあと、「久之浜大久<sup>じゃんがら</sup>自安我楽念仏踊継承会の復活について」と題して座談会を開催します。これまで被災地の文化支援を実施しながら研究活動を進めてきた本館准教授日高真吾のコーディネートのもと、被災地の芸能支援に関与してきた追手門学院大学地域文化創造機構特別教授の橋本裕之氏と継承会事務局の遠藤諭氏をパネリストに迎え、復興に向けた人びとの思いについて考えます。

## 【開催概要】

公演名	研究公演「じゃんがら念仏踊りみんぱく公演」
日時	2015年1月24日(土)13:30~15:30
会場	国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)講堂
司会	日高真吾(国立民族学博物館 文化資源研究センター准教授)
解説	橋本裕之(追手門学院大学 地域文化創造機構特別教授)、遠藤諭(久之浜大久自安我楽念仏踊継承会)
申込/参加費	要事前申込/要展示観覧券
申込方法	往復はがきに①氏名②住所(返信用宛名面にも)③年齢(任意)④電話番号⑤参加希望人数(本人を含め2名まで)⑥「国立民族学博物館友の会」会員番号(会員の方のみ)を明記の上、「1月24日研究公演」と書いて下記までお申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。締切日以降、順次返信いたします。なお、参加申込された方の個人情報、研究公演にのみ使用いたします。
宛先	〒565-8511 吹田市千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 広報企画室 1月24日研究公演係
申込締切	2015年1月8日(木)必着
主催	国立民族学博物館

## 【「じゃんがら」とは】

じゃんがらは、福島県に伝わる独特の念仏踊りです。かねと太鼓に合わせてうたい、踊る独特の念仏踊りで、初盆を迎えた家々を回る伝統行事です。

## 【本館のこれまでの復興支援活動】

本館の日本の文化展示場では、2012年度から「東日本大震災とみんぱく」コーナーを常設し、東日本大震災からの復興にまつわる情報を発信しています。また、無形の民俗文化財への支援として、被災地の芸能を演じる「場」を創出し、その芸能の再開のきっかけとする活動を行っています。

2012年度は<sup>ささぎましおどり</sup>笹崎鹿踊り(岩手県)、<sup>うのとりかぐら</sup>鵜鳥神楽(岩手県)、<sup>なんぶほんじゅういんねんぎょうじしほいだいかぐら</sup>南部藩壽松院年行司支配太神楽(岩手県)、2013年度は<sup>おがつほういんかぐら</sup>雄勝法印神楽(宮城県)の公演を本館で開催しました。

## 【実行委員紹介】

日高真吾(国立民族学博物館 文化資源研究センター准教授)

東海大学文学部史学科日本史学専攻卒業後、(財)元興寺文化財研究所研究員を経て、2002年より民博。専門分野は、保存科学。被災した民俗文化財の保存処理方法の研究開発や博物館における資料保存の研究を行っている。

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 広報企画室 広報係  
 電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp  
 プレス向けウェブサイト www.minpaku.ac.jp/press